

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（中道地区）

日 時	令和8年7月14日（火）午後7時00分～午後8時15分
会 場	中道公民館 会議室
参 加 者	132名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	・中道公民館の優先的な利用について 中道地区自治会の集会所や公民館は老朽化が進み、また駐車場も少ないことから地区住民等が使用するのに不便をきたしている。 現在、中道公民館は交通の便が良いことや駐車場も広いことから中道地区以外の利用者も多く、中道地区の自治会等が利用申込みを行うときには、既に予約されているケースもある。以前、自治会で使用する場合は3か月前から予約できる旨の話をいただいているが、今後は中道地区の自治会や地区住民等が優先的に申込みできるようにしていただくことを願います。
樋口市長	本市では、子どもから高齢者まで、誰もが生涯にわたって学べる場であるとともに、自治会活動をはじめとした地域活動を支える施設として、市内9か所に公民館を設置しており、多くの団体の皆様にご利用いただいている。 こうした中、中道公民館を含め、各公民館では、自治会や地区に属する団体の活動は、定例的な活動などで利用する場合には、一般の予約開始時期よりも早く受付を行うなど、地域の皆様が利用しやすい公民館運営に取り組んでいるところである。 なお、その他の活動についても、利用内容や日時などにより様々なケースがあることから、ご利用の際には、お早めにご相談いただきたい。 今後においても、中道地区の皆様の活動を支えていくことができるよう、公民館の管理・運営に努めていくので、ご理解のほどよろしくお願いする。

質問	・鳥獣被害への対策について 令和7年度から中道南地区土地改良事業が開始された。この事業により、住居地域や農地に、山間部からの有害鳥獣の侵入を防ぐ防護柵の設置が予定されている。 しかしながら、既に防護柵内の原野に生息するイノシシやシカによる農作物への被害が増大しており、生産者の生活を脅かしていることから、有害鳥獣の駆除を含めた対応について検討をお願いする。
産業部長	本市では、イノシシやニホンジカによる被害の軽減を図るため、個体数調整を行う管理捕獲や農作物被害に対応する有害捕獲を実施しており、中道地区においては昨年度、イノシシ31頭、ニホンジカ104頭を捕獲した。 また、令和5年度からICTを活用した、罾の作動をリアルタイムで通知するシステムを導入し、有害捕獲を効率的に行うことで被害低減に取り組むとともに、農業者自らが設置する電気柵などの被害防除施設に対する補助を行うほか、専門家による効果的な指導も行っている。 さらに、鳥獣防護柵については、その効果が期待できる中央市と隣接する箇所において、土地改良事業に先行して整備をしてきたところである。 今後においても、これらの取組を継続するとともに、中道南地区の土地改良事業における鳥獣防護柵の整備を着実に進めていく。 また、地域の皆様から寄せられた被害情報を踏まえ、速やかに現地を確認し、猟友会の皆様と連携を図りながら、管理捕獲及び有害捕獲など、鳥獣被害対策に努めていく。
質問	・健康の杜「アネシス」へ通じる市道の管理について 住民活動の拠点の一つとして利活用されている健康の杜「アネシス」がある。 アネシスへ通じる、市道2013号線の歩道に植栽地があるが、毎年この植栽地の雑木・雑草が大きく繁茂しているため、アネシスや曽根丘陵公園を訪れる利用者が不便を強いられていることや、衛生面に不安が生じている。地域住民が住みやすく、より良い環境を引き継いでいくため、年2回以上の除草など対

まちづくり部長	応をお願いする。
	市道の除草ということで、全市的にこの時期にご要望いただき、随時対応しているところである。近年の気候変動により、雑草が長期にわたり繁茂する傾向となっている中、本市では、市内一円の市道や公園の除草を計画的に行っている。 健康の杜センター「アネシス」への進入路である「市道上の平線」については、毎年、6月から11月にかけて年2回ほど、除草を行っているところであり、今後においても、計画的に実施するとともに、防草シートの設置や作業回数を増やすなどの検討を行う中で、ご不便をかけないような適切な道路の維持管理に努めていく。
質問	・甲府南インターチェンジ周辺の整備について 甲府南インターチェンジ周辺の整備については、県が積極的に絡んでいると思うが、市も積極的に取り組んでもらいたい。 もうあそこにインターができてから二十年になる。全国的に見てもインター周辺で、あの体たらくというか、今、早野組さんがあの盛り土というのか、仮置き場として使っているが、非常にみっともないインター周辺だというふうに理解をしている。 インター周辺について、さっきの説明の中でも全く触れていなかったが、ぜひ早急に、今考えていることがあったら教えてください。
産業部長	この周辺については、甲府市都市計画マスタープランというまちづくりのプランにおいて「特定機能補強地区」という位置付けになっており、民間事業者による地区計画などで産業用途での活用という形を考えている。 また、地域未来投資促進法という法律があるが、これに基づく山梨県の計画でも「重点促進地区」と定めており、企業誘致を推進している。 民間事業者による開発になるので、開発事業者からの問い合わせ等々に甲府市としては今対応しているところである。

質問	・笛南中学校の今後について 私の家は中学校のすぐ南にあるが、非常に今、笛南中学校は寂しい状況にある。というのも、ほとんど今、部活動がない。サッカーもない、野球もない。武道館という立派な施設があるにも関わらず、全く子どもの声が聞こえない。バドミントンは細々動いているようだが、他の部活動はほとんどもう動いてない。 さっきの説明資料には、令和11年ぐらいまでに設備を充実させるという状況だと書いてあるが、中道地区の中学校をどうするのか、今のまま続けていくのかと。それでは地元の公立中学校に行く気がしないのではないかという意見が増えることを危惧する。そのくらい中学校が寂しい。 加えて、周辺も草ぼうぼうで、あれを一度、市の方々に見てもらいたい。どういう状況になっているか。
教育部長	笛南中学校の、まず部活の話については、今、人口減少・少子高齢化ということで、一定の規模を確保できる学校もある一方で、生徒数が非常に減少傾向にあるというところもある。そういった学校については、部活動も学校内で確保ができない、やりたい部活ができないということが問題になっている。 そうしたことから、現在地域展開ということで、地域の皆様のご協力をいただきながら、他の学校と一緒に部活動を実施することを順次進めているところである。甲府市においても、剣道やバレーボール、バスケットボールから始まり、今、十数の競技において、学校部活動の地域展開が実施されているので、今後も子どもたちの意見を聞きながら、やりたい部活動ができるような環境整備に取り組んでいく。 また、年々生徒数の少なくなっている中において、今後どうしていくのかという話については、私どもも人口推計、あるいは生徒数の推計を見ながら、地域の皆様方のご心配もあるので、今後の学校の適正規模の確保に向けて、しっかりと慎重に検討していく。 また、学校周辺の草の繁茂についても、早々に確認をさせていただきたい。ご理解のほど、よろしくお願いする。

質問	・下曽根町の食品工業団地周辺の今後の整備について 下曽根町にある食品工業団地について、豊富の方にシャトレーゼのあれだけ立派な工場ができて、周りにそのビニールハウスというのか、イチゴハウスができたから、見た目はずっと向こうの方がいい。下曽根のところは、今駐車場が点々と拡大されつつはあるが、中途半端である。駐車場を作ると、農地転用ができるということでできているようだが、食品工業団地を今からどうするのか、それから周辺の環状道路をどうするのかという方向性が見えない。
産業部長	現時点で食品工業団地周辺の開発というものは特に計画はないが、私どもで周辺の状況なども確認しながら、本日いただいたご意見も参考にして、今後のまちづくり、またこの周辺の活性化について検討していきたい。
質問	・甲府南インターチェンジ周辺の開発促進について 先ほどの質問に関連したインター周辺の話だが、先ほどの回答だと、甲府市としては、積極的に推進はせず、民間の人がやってくれるのを待っているというように聞こえた。そのところがちょっと違うのかなと。今までずっとやってきて何もできなかったのも、ここはちょっとそれを見直して、市のほうで積極的に推進していただくといいのかなというふうに思うのがまず一点。 もう一つ、民間主体でやってもらうということだが、民間事業者からの問い合わせはどのくらいあるのか、その二点を教えていただきたい。
産業部長	私どもも、あの用地に向けていろいろな企業にアポイントを取りながら、こういう地域が、エリアがありますというような形でのアプローチはしている。そして、そうした中でも興味を抱いて話をちょっと聞きたいという事業所は数社あるが、まだ本格的な誘致に向けての話は進んでいないというのが現状である。 引き続き、あそこのエリアにそぐうような企業には、ただ待っているだけではなくて、こういう土地があり、こういう状況である等、私どもからいろいろな情報発信をしていく。

樋口市長 (まとめ)	大変暑い日、お疲れのところ長時間ありがとうございました。このように大勢の皆様方に出席をいただき、また意見交換をさせていただいた。それぞれの方からいただいた意見等についても、しっかりと受け止めさせていただいて進めていく。 また、甲府南インターチェンジ周辺についてご質問をいただいたが、甲府市はここの中道地区と山城地区ぐらいしか企業誘致のための大きな土地はないので、しっかりと取り組んでいくが、どちらも本市の大事な農業振興の土地でもあるので、そういったことで今まで少し時間がかかっていた。先ほど産業部長から説明があったが、待ちの姿勢じゃなくて、しっかり民間事業者に情報提供をする中、さらに未来に向かって、リニアもできてこの地区は交通の要衝にもなるので、しっかりと進めていく。また様々なご意見をいただければありがたい。 笛南中学校の話であるが、子どもたちがスポーツの種目を、あるいは文化的活動の種目を選びながら、少ない子どもたちでもできるような、そんな部活動を本市教育委員会では推奨し、また推進をしていこうとしているので、ぜひご理解いただきたい。また、体育館は災害の時には避難所となるので、しっかり空調設備の整備を進めたいということと、子どもの人数に限らず、この暑さでは外でのスポーツはできないので、冬もそうだが、全小中学校への体育館の空調整備はそういった意味で進めさせていただくので、これもご理解いただきたい。 食品工業団地についても、周りのことについては、実はコロナ禍前までは定期的にここの食品工業団地や金属機械工業団地等々と産業部を中心として意見交換会をして、いろいろな課題を拾って改善していたが、コロナ禍の後、本当にそういう機会が減ってしまったので、また本日はいい提言をいただいたので、そういったことを重ねながら、環境整備を進めていきたい。 この総合計画は市の最上位計画であり、この下に、例えば産業振興計画とか観光振興計画、子育て支援計画、高齢者福祉計画など、様々な部局ごとの個別計画やプランが紐づいているので、本日お話ができなかったこと、それぞれ個別の事業・計画に関することについては、市役所に直接、あるいは自治会や自治会連合会を通じて、あるいは議員を通じて、またお聞かせいただければありがたいというふうに思うので、ぜひよろしくお
-----------------------	--

	願ひ申し上げる。 多くの皆様方にご出席いただいたことに重ねて感謝を申し上げます、また、明日以降非常に暑いようなので、ぜひ熱中症などお気を付けいただくようお願いを申し上げます挨拶とさせていただきます。
地区からの挨拶要旨	
中道地区自治会連合会会長	本日は、第七次甲府市総合計画の説明会に、樋口市長をはじめとして、甲府市の幹部の方々にご出席いただき、また丁寧な説明をいただき、本当にありがとうございました。 最後に改めて市長の説明があったように、分野が多岐にわたり、最後に中道地区に関係があるという説明は非常に良かったと思うが、今後実施計画の段階で、それぞれの地域が抱えている問題も含めて、少しでも前に進む仕組みを作っていただきたい。 「幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府」と謳っているように、我々中道地区も希望ある未来を創り続けていける中道地区になるよう頑張るので、よろしくお願いします。 併せて、中道地区にはリニア対策推進協議会というものがあるが、過日、それぞれ市あるいは県、あるいはＪＲ東海に要望をさせていただいた。市のリニア担当課には、下曽根自治会が出した要望に本当に積極的な答弁をいただき、ありがとうございました。ぜひ継続して答弁いただいた内容がしっかり実現するまでよろしくお願いします。 ＪＲ東海は、この中道地区の工事の着工の時に、笛吹川の橋体や騒音を含めて、なかなか地域の理解が得られない中で、地域が協力をしていく上で、少しでも前向きに取り組んでいただくことを条件に了解した経緯もある。特に中道北小学校の駐車場問題は、ＪＲ東海側から緑地帯の中でそんなことも考えていきたいというお話もあったので、ＪＲ東海側はすべて当時の担当者は変わってしまったけれども、その辺もしっかりリニア担当課の方からもその要望を叶えていただきたいということをお伝えしていただきたい。 また、中道地区は甲府市に編入合併をされた時に、住民投票までした中で、最終的には昔の東八代郡ではなくて、甲府の方を選んだ経緯もある。合併協議会の中で、いろんな要望を踏ま

	えて、それぞれの課題が出された。水道管の布設替えも計画的に行っているというお話をいただいたので、ぜひ住民のインフラについては、計画的な整備をお願いします。 ただ、心経寺地区あるいは中畑地区の一部が、今回、下水道の整備地域から外れたという経緯がある。これはやむを得ずそういう結果になったと思うが、やはり高齢者が多い中で、新たに単独浄化槽を合併浄化槽に変えていくという仕組みになかなか手が出づらい。今の補助金の金額では非常に厳しいものもある。これは全国的な課題にもなるはずだから、やはり整備できなかったところがそのままではいいはずがないし、汚れた水が山梨県、特にこの地域では滝戸川の方にそのまま流入するというのはいいことではないので、段階的にそういうことにも取り組んでいただきたい。 いずれにしても、山梨県に今27市町村、13市ある中で、甲府市の経常収支比率というのは非常に厳しいものがあり、我々もこれを全てやれというつもりは毛頭ないが、ぜひこれから第七次甲府市総合計画の実施計画の中で、こちら側としても絞り込む中で要望を出していきたい。ぜひよろしく願います。 それから本日、お忙しい中、中道地区の皆様には第七次総合計画の説明会にこんなに大勢お集まりをいただき、ありがとうございました。 先ほど質問の中にもあったように、笛南中学校の生徒数が一学年二十何人なんていう状況であるから、非常に厳しい部分があるのは重々承知しているが、先ほどの教育部長の話にもあったように、少しでも前向きに積極的に考えていきたいということであるので、ぜひそこに期待をしていきたい。 本日は各種団体を中心に参加をしていただき、皆が力を合わせて、その中で優先順位をしっかりとつけながら、これだけは成し遂げていただきたいというような仕組みで、今後取り組んでいかなければならないのかなと思っているので、ぜひ22の自治会、それから自治会連合会に参加する10の各種団体の力を総結集して、より良い地域づくりに向けて今後も皆で力を合わせていきたい。
--	---